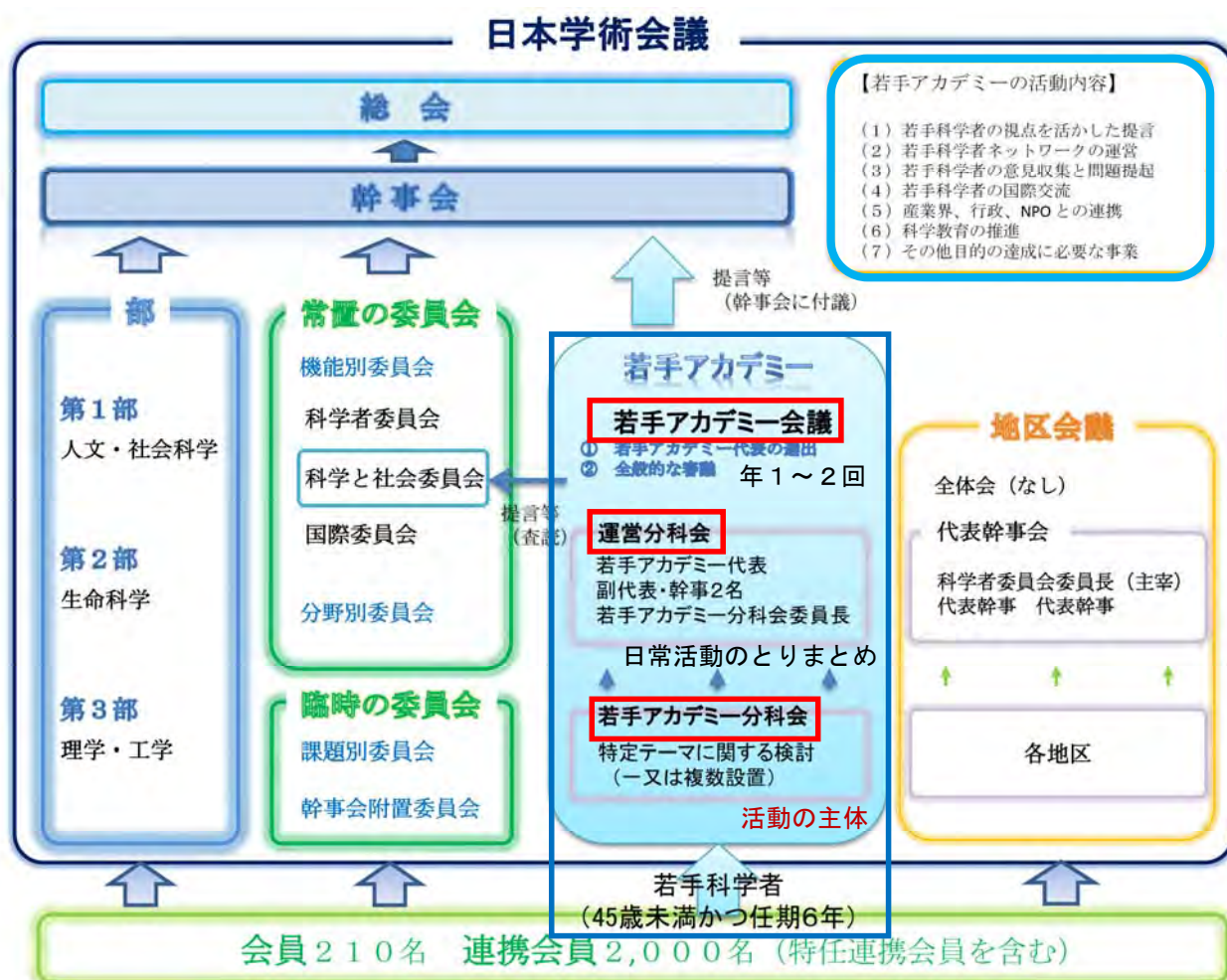


若手アカデミー 活動報告

宇南山 卓

日本学術会議 連携会員
若手アカデミー・若手科学者ネットワーク分科会委員長
一橋大学経済研究所・准教授

日本学術会議第173回総会平成29年4月14日



若手アカデミー（第23期）（平成27年2月～）



大西会長ら幹部と記念撮影する若手アカデミーメンバー

平成27年2月発足時

メンバー 29名



特任連携会員を追加

現メンバー 38名



代表：
上田泰己



副代表：
狩野光伸



幹事：
隠岐さや香



幹事：
住井英二郎

若手アカデミー分科会

【若手アカデミーの活動内容】

- (1) 若手科学者の視点を活かした提言
- (2) 若手科学者ネットワークの運営
- (3) 若手科学者の意見収集と問題提起
- (4) 若手科学者の国際交流
- (5) 産業界、行政、NPO との連携
- (6) 科学教育の推進
- (7) その他目的の達成に必要な事業**広報**

若手による学術の未来検討分科会
(福永真弓、瀬山倫子ほか)

若手科学者ネットワーク分科会
(宇南山卓、井藤彰ほか)

イノベーションに向けた社会連携分科会
(吉田丈人、高山弘太郎ほか)

国際分科会
(北村友人、竹村仁美ほか)

平成28年度の活動： 若手による学術の未来検討分科会

- ・シンポジウム『融合を問う: 学問の消滅と生成の系譜学から』を開催

- ・テーマ

- ・ 学問の「融合」や「統合」に直面する中で、専門領域としての形や、制度上の立ち位置を失ってしまうものが出てくる
- ・ それらは将来にわたって本当に失われてしまっているものだろうか？

- ・ 4人の講師による講演

- ・ 座談会



- ・ワークショップ「科研費の新体制は学術の場をどう変えるか」も同時に開催

- ・ 科研費改革の概要の説明・質疑応答

平成28年度の活動： 若手科学者ネットワーク分科会

- ・第1回若手科学者サミットの開催

- ・ これまで若手アカデミー委員会で開催してきた「ポスターセッション」の延長
- ・ 各学協会等の「若手の会」の活動内容の紹介をするポスターセッション
- ・ 若手の会の活動の情報共有および若手研究者間の分野を超えた交流を目的

- ・平成29年度には第2回を内容を拡大して開催予定

- ・ 研究発表・ポスターセッション・パネルディスカッションの3部構成



- ・メーリングリスト「若手科学者ネットワーク」の構築

- ・ 日本国内の多様な分野で活躍する若手研究者をつなぎ、分野を超えた若手研究者の学際的交流を促進し、学術界ひいては社会の抱える問題点の情報収集・共有を円滑に進めるためにメーリングリストを運営する（若手科学者ネットワーク運営要領）
- ・ 2017年3月現在で188団体が加盟

平成28年度の活動： イノベーションに向けた社会連携分科会

- 公開シンポジウム「世代の知をつなぐ地方創生とイノベーション」を、愛媛大学にて開催（2016年7月26日、参加者約120名、愛媛新聞で報道）
- 学術の動向（2017年2月号）に、特集として公開シンポジウムの記録を出版

